

矛盾した教育現場をよくするために改善を求めよう!

① 私の学校では、校務分掌、職員会議への参加、専用のパソコン、教育活動力など、私の学校には部活動指導員、引率員、実習教員は部活動引率員がいないという状況です。

② 実態は教諭の先生と同じ仕事をしているのに、都度、良い利用される実態は納得できません。

③ 教諭として法律上は「実習助手」(実習助手) 教育活動に協力していただくという立場で、同じ仕事をしていても全国で職名や呼称も様々...扱われ方も様々なんです。

④ 認定講習等で「教諭(実習)」に任用替えとなったとしても、法律の上では「実習助手」のままなのです。教諭と同じと思われませんが、実際は、学校にとって都合の良い「学校裁量」や「適材適所」で運用される実態があります。

実習助手・主任実習助手・教諭(実習)・実習助教諭・実習主任実習講師 etc...

① 私たちは教科の中でも得意とする専門性があるのに、同じ教科でも専門性や得意とする得意な専門性、技術が深くないという現実です。

② 同じ教科でも専門性や得意とする得意な専門性、技術が深くないという現実です。

③ 特定の学校に無視した人事や後継者育成もできない環境で、工業、農業、特別支援、普通教科、看護・福祉、家庭、商業、水産。

「都内の良い職」こそ扱われている実態、やれぬ実態を嘆かれています。

文部科学省は「各学校の 実情 に応じて配置をお願いしている」と答弁しますが、現実とは違います。専門性を生かした配置や配慮が無いばかりか、技術の専門性を磨くことや継承ができない職場環境が全国的に多々あります。人事異動によって「マイナス人事だった」との報告も多々あります。また近年、ICT教育に対応すべく、メンテナンス等の業務に充てられる事案が増えています。また教育予算の減額によって全国的に実験・実習教育が衰退してきています。「五感」を使った学びは、子どもたちの成長において大切な要素です。豊かな実験・実習教育を守っていきましょう。

① 企業訪問すると「教諭」を呼んで来い、出直せ!

② 先生、じやこの「先生」じやこの「先生」指示に従う必要ありません!

③ 「あなた「助手」ですか? 「教諭」に指導の役割を期待していません! 立場をわきまをなさいよ!

④ 先生方足りませんか、だから、校務も部活も主担当でお願いしたいです。

管理職から「先生方足りませんか、だから、校務も部活も主担当でお願いしたいです。」

職名や制度によって起きる弊害

職務規定では「実験または実習について、教諭の職務を助ける」とあり、実験・実習の教科のみに関わって助けるとされています。しかし、この「教諭の職務を助ける」、「助手」という言葉から、教育委員会や管理職、職場の教員、生徒や訪問した企業先などから恣意的、あるいは狭義的に解釈され、補助的業務に位置づけられておくべき「職種」と誤った判断により差別的扱いを強いられています。

だから 制度改革 必要 なんです

教育環境や条件が刻々と変わる今日「どの子にもゆきとどいた教育」の充実に向けて!

こういった声が寄せられています!

学校で働いている人は皆「先生」ではないのでしょうか?

保護者から

形式上の転動では技術の継承や発展できない。

専門性も無視して採用や配置は産業教育の低下に繋がる

産業教育団体 一般企業 から

ICT教育も必要だけど、もっと五感を使った学びを充実させて。

大学・専門学校 各教育関係

署名にご協力ください!

